



### Ⅲ 研究活動

#### 1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
蓮見 孝	デザインと看護の連携によるウェルネス科学の推進
酒井 正幸	ユニバーサルデザイン研究 動物園のランドデザイン
城間 祥之	デザインの価値創造とその評価方法に関する研究 —パッケージデザインの印象評価を対象として—
中原 宏	地域の多様性とコミュニティデザインに関する研究 —路地空間の視点から—
原田 昭	札幌市立大学の国際関係事業の展開と、産学公連携事業の展開
小西 敏正	北海道における構法の地域特性
石井 雅博	視覚認知に関する研究
石崎 友紀	工学的性能・審美的性能・情緒的性能の相対的な考察 道具学の探求 地域様式デザイン探求 造形教育
上遠野 敏	現代美術創作研究 同時代の美術研究 日本の美意識研究
齋藤 利明	オールビスクによる創作人形制作研究と人形を主体とした空間演出
杉 哲夫	北国におけるプロダクトデザイン事例研究およびデザイン開発
武邑 光裕	都市のメディア化とフェスティバル経済
羽深 久夫	北海道における歴史的建造物の保存・再生・活用 米国・東欧・北欧及び東アジア(韓国・台湾)における木造建築の保存・再生・活用 日本および世界における医療施設・福祉施設の調査 世界の高等教育機関における建築教育調査と相互交流
原 俊彦	ドイツと日本における無子の増加に関する研究 超少子高齢化・人口減少社会に対応した社会保障システムのデザイン 地域社会の人口減少・少子高齢化に対する施策の研究
細谷 多聞	視覚的環境情報の電子化とその活用に関する研究
望月 澄人	C G 作品、アニメーション・実写合成映像の制作
矢部 和夫	地域の湿原やその他の生態系における生物多様性の保全・再生と創出に関する研究
吉田 和夫	組織活性化におけるVI(ビジュアル・アイデンティティ)の役割とその生成について
吉田 恵介	ランドスケープデザインをベースにしたコミュニティデザイン手法によるエリアマネージメントの可能性について
柿山 浩一郎	講義内容改善を目的とした、学生からの講義に対する意見収集システムの開発



教員名	研究課題
齊藤 雅也	北方型住宅の温熱快適性と人体エクセルギー消費
武田 亘明	クリエイティブ人材育成のための実践的学びの場のデザイン
張 浦華	形態の感性評価の相関要因に関する研究
町田 佳世子	コミュニケーション能力の構造と評価方法の研究 「伝えるコミュニケーション」に関する研究
山田 良	環境デザイン(環境芸術・ランドスケープデザイン)の地域に果たす役割に関する研究
石田 勝也	サウンドアンドビジュアルを使用した空間的創造性の構築 コンテンツ産業における地域プロモーションの研究
上田 裕文	風景イメージスケッチ手法を用いた風景計画に関する研究
大淵 一博	デザイン学習者向け教材の開発と教育効果測定に関する研究
片山 めぐみ	屋内展示を主とした積雪寒冷地の動物園デザインのあり方
小宮 加容子	子どもを対象にした身体・認知の発達に適した魅力あるデザインに関する研究
杉本 達應	情報の視覚化に関する技術調査と教材開発
福田 大年	ワークショップの活動を基盤としたアイデア発想能力の向上におけるスケッチを活かしたプロトタイプングの可能性に関する基礎的研究
松井 美穂	アメリカ南部文学研究、モダニズム文学研究
三谷 篤史	メカトロ積木の多様化を目的としたパーツの汎用化についての検討
金子 晋也	木造建築の構法に関する研究
須之内 元洋	オンライン音響編集プラットフォームを活用したサウンドスケープ活動の展開、及び音響パターン認識技術の研究
長谷川 聡	人の行為を誘引する製品・空間に関する研究

## 看護学部

教員名	研究課題
中村 恵子	大学院教育における高度実践看護に関する研究
樋之津 淳子	看護基礎教育と臨床教育をつなぐ卒業研修プログラムの開発と評価
スーディ神崎 和代	ICT を用いた遠隔看護(E-KANGO)に関する研究 認知症と環境に関する研究:センサーガーデン
宮崎 みち子	胎児の生きる権利に関する研究
猪股 千代子	地域で暮らす難病患者の生を支える全人的統合医療ケアリングプログラムの研究
内田 雅子	慢性期看護 事例研究法 看護職キャリア形成プロセス
河原田 まり子	ソーシャル・キャピタルを活用した公衆衛生看護活動の推進
川村 三希子	認知症を伴うがん患者の看護の課題に関する研究



教員名	研究課題
坂倉 恵美子	積雪寒冷地地域高齢者の生活の実態と主観的幸福の関連
定廣 和香子	看護学実習における医療事故防止に向けた教授活動自己評価尺度の開発
松浦 和代	低学年児童の基礎活動力を高める転倒予防マットレスの開発と運動プログラムへの適用
山本 勝則	精神看護学におけるシミュレーション教育
大野 夏代	マッサージなど看護技術や統合医療に関する研究 国際的活動の計画や評価に関する研究 往還型研修、スキルアップトレーニング等、キャリア支援に関する研究
貝谷 敏子	Cost-effectiveness of conservative sharp wound debridement for pressure ulcers offered by wound, ostomy and continence nurses: A propensity score matching analysis.
菊地 ひろみ	神経難病療養者のQOL に対する心理社会的介入の有効性に関する基礎的研究
清水 光子	都市に暮らす高齢者のソーシャル・キャピタルの実態と今後の地域保健福祉活動 継続的に養育支援が必要な家族への保健師の援助の実態
菅原 美樹	高度実践看護師のシミュレーション教育と評価に関する文献検討と視察による調査
村松 真澄	介護保険施設における口腔ケアに関する看護管理的取り組みの介入が対象者(入院、入所者)の心身に及ぼす影響に関する調査
守村 洋	メンタルヘルスに関する研究(主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究)
山田 典子	セーフティプロモーション(SP)/セーフコミュニティ(SC)に関する外傷予防活動
吉川 由希子	北海道における在宅で医療的ケアを受けている小児と家族を支えるシステムについて
太田 晴美	災害看護に取り組む看護師支援に関するアクションリサーチ
神島 滋子	高次脳機能障害患者・家族の生活の実態と生活上の工夫について
櫻井 繭子	産業保健に関わるシステムに関する研究
田中 広美	基礎看護技術の教授活動に関する研究
原井 美佳	前期高齢者である女性の加齢に伴う尿失禁のリスク要因の解明 高齢女性の通常歩行時に身体が受ける振動と老年症候群との関連についての検討
藤井 瑞恵	成人看護学領域における臨床とのユニフィケーション - 中小規模病院教育担当者・学生・教員にとっての効果 -
三上 智子	小児看護学OSCE における新たな課題の検討
山内 まゆみ	助産学専攻科自己学習用教材の作成の試み 学生へのグループインタビューから、看護学部ポートフォリオプロジェクトの現状の課題と改善点を明らかにする 助産学OSCE の成果と課題 助産学専攻科生を対象にした「私はこんな助産師になるぞ、プロジェクト」2013 の評価と課題
山本 真由美	助産師に求められる実践能力の強化-助産師外来を開設して- 客観的臨床能力試験(OSCE)を用いた母性看護学に必要な技術修得状況の把握と到達度を高めるための課題
渡邊 由加利	助産学客観的臨床能力試験(OSCE)における教員評価と学生自己評価の相違



教員名	研究課題
工藤 京子	呼吸機能障害患者・家族、酸素業者の災害避難に対する意識と取り組み
多賀 昌江	死産児出産の悲しみを癒す棺の感性デザインに関する研究
田仲 里江	地域保健分野におけるソーシャル・キャピタルに関する研究
坂東 奈穂美	看護師と看護補助者のケア協働システム構築への取り組み －看護補助者の協働の現状と抱えている課題－ シミュレーションモデルを用いた注射の研究
檜山 明子	入院患者に対する転倒予防対策に関する研究
小田嶋 裕輝	2型糖尿病患者の首尾一貫感を高めるための支援方法の検討 －文献検討と質的帰納的研究からの示唆－
柏倉 大作	周手術期における患者の栄養状態と術後合併症の関連および看護ケアプログラムの構築 注射技術取得のためのシミュレーション教育(仮題)
鈴木 ちひろ	月経前症候群の症状が夜勤に従事する看護職者に与える影響
御厩 美登里	在宅死を促進する要因に関する研究 訪問看護師の職務継続意向に関連する要因
星 幸江	精神科長期入院患者の退院支援の実態と地域における支援の可能性
横川 亜希子	医療事故を克服した看護師の経験に関する研究－就職後1年以内に医療事故の当事者となった看護師に焦点を当てて－

## 2 学内公募研究課題一覧

### 学術奨励研究

教員名	研究課題
片山 めぐみ	「地域おこし協力隊」を通してみた農村居住におけるウェルネスモデルの検討
小宮 加容子	「散剤に適した子どもの服用動作分析および処方薬分袋のデザイン提案－識別性、視認性の検証－」
杉本 達慶	デジタルワークショップのモバイルアプリケーション開発研究
松井 美穂	ウィリアム・フォークナーの作品と黒人文化
渡邊 由加利	妊娠期にある夫婦の夫婦間の情緒的関係を維持・促進するためのコミュニケーション支援プログラムの開発
小田嶋 裕輝	2型糖尿病患者のストレス対処能力を高めるための支援方法の検討－文献検討と質的帰納的研究からの示唆－
鈴木 ちひろ	「月経前症候群の症状が夜勤に従事する看護師・助産師に与える影響」

### 共同研究

教員名	研究課題
◎杉 哲夫	生ごみ水切り器具のデザイン研究
◎張 浦華 三谷 篤史	短期型国際合同ワークショップの実施とその教育効果
◎山田 良	"北方圏都市のまちづくりにおける環境芸術の役割と可能性 －札幌市、ノボシビルスク市の屋外公共空間での作品展開催を通じて－"
◎大淵 一博 内田 雅子 清水 光子 多賀 昌江 檜山 明子	タブレット型端末を活用した看護O S C E運営・評価支援システムの開発と検証
◎三谷 篤史 松浦 和代	木の感性性能を生かしたメカトロ積木の多機能化を目的とした積木パーツの改良と遊びのデザイン
◎川村 三希子 菊地 ひろみ 上田 裕文	広域積雪地域における緩和ケア普及のためのアクションリサーチ
◎菊池 ひろみ スーディ神崎和代 柿山 浩一郎 福田 大年	E-KANGO のサービス付き高齢者向け住宅入居者の健康モニタリングに対する応用
◎守村 洋 杉 哲夫 山本 勝則	"統合失調症者の親が感じる困難と求める支援 ～障害の有無に関わらず、誰もが安心して生きられるまちづくり～"
◎田中 広美 杉 哲夫 樋之津 淳子 原井 美佳 檜山 明子	車椅子移乗の自立支援に向けたスライディングボードの作製と検証

◎印：代表者

### 田村ICT基金

教員名	研究課題
◎細谷 多聞	遠隔現実を活用した移動体験を支援する機器の開発

◎印：代表者

### 採択状況

学術奨励研究		共同研究		田村 ICT 基金		合計	
応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
9	7	17	9	1	1	27	17



### 3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

科学研究費助成事業(科研費)

研究代表者	研究課題	研究種目	金額(円)
定廣 和香子	看護学実習中の医療事故回避に向けた教授活動自己評価尺度の開発—実習安全FDの実現	基盤研究(C)	1,040,000
町田 佳世子	動物園を舞台とした教育・啓蒙活動における専門的実践家の役割とその効果の解明	基盤研究(C)	910,000
原 俊彦	札幌市における配偶関係別移動率の解明	基盤研究(C)	650,000
三谷 篤史	異方性エッチング加工による非対称微細構造表面におけるトライボロジ特性の解明	基盤研究(C)	1,560,000
太田 晴美	災害看護に取り組む看護師支援に関するアクションリサーチ	基盤研究(C)	1,040,000
山内 まゆみ	現職助産師の業務実態を背景とした看護系大学による卒後研修教育プランの開発	基盤研究(C)	780,000
宮崎 みち子	助産学専攻科における客観的臨床能力試験(O S C E)を用いた教育プログラムの開発	基盤研究(C)	910,000
菊地 ひろみ	看護系大学の在宅看護分野における看護技術教育の到達度と方法の明確化	基盤研究(C)	1,950,000
齊藤 雅也	小学児童の夏・冬の閾値温度の地域比較研究	基盤研究(C)	1,560,000
松浦 和代	低学年児童の基礎活動力を高める転倒予防マットレスの開発と運動プログラムへの適用	基盤研究(C)	2,210,000
矢部 和夫	低地泥炭湿原の群落の景観と種組成における地理的変異の把握とその生成機構の解明	基盤研究(C)	1,950,000
藤井 瑞恵	地域一般住民のアルコール摂取量とアディポカイトサイン、生活習慣病リスクとの関係	基盤研究(C)	1,820,000
村松 真澄	介護保険施設において実践されている口腔ケアに関する看護管理的取り組みの実態調査	基盤研究(C)	1,170,000
小宮 加容子	散剤に適した子どもの服用動作分析および処方薬分包袋のデザイン提案	基盤研究(C)	2,860,000
羽深 久夫	明治期以降の北海道における枠内構法の民家の歴史的展開過程	基盤研究(C)	2,990,000
工藤 京子	北海道における患者を主体とした自助行動としてのHOT患者災害時避難システム	基盤研究(C)	1,560,000
菅原 美樹	高度実践看護師の臨床推論・判断能力を強化するシミュレーション教育プログラムの開発	基盤研究(C)	2,340,000
河原田 まり子	地域保健活動評価のためのソーシャル・キャピタル測定尺度の開発	基盤研究(C)	2,080,000
清水 光子	都市に暮らす高齢者のソーシャル・キャピタルの実態と今後の地域保健福祉活動	基盤研究(C)	650,000
貝谷 敏子	看護経済学の構築に向けた基盤研究—褥瘡患者立脚型QOL評価指標の開発—	基盤研究(C)	1,690,000
山田 典子	外傷サーベイランスが現場にもたらす課題とシミュレータを用いたスタッフ育成	挑戦的萌芽	1,170,000



研究代表者	研究課題	研究種目	金額(円)
片山 めぐみ	高齢者福祉に対する子どもの感性を育む地域コミュニティ：幼老複合施設の新しい試み	若手研究 (B)	650,000
檜山 明子	「疼痛アセスメント能力自己評価尺度－精神科看護師用－」の開発	若手研究 (B)	910,000

※課題番号順

科学研究費助成事業基盤研究A(科研A)

研究代表者	研究課題	研究種目	金額(円)
蓮見 孝	タイム・スペースシェアリング型地域連携による地域創成デザイン研究	基盤研究 (A)	22,360,000

①概要

本研究は、地方市町村と大都市の双方における暮らしの質の維持、および魅力創出のための手法の構築を目的とするものです。

地域衰退の先行事例となる可能性のある北海道地域の地方市町村と大都市を対象に、定量的な調査分析を行い、それぞれの魅力と課題を明らかにします。この分析結果を踏まえ、アート&デザインを核に地方市町村と大都市を相補・連携させる「タイム・スペースシェアリング(略称 TSS)」手法による地域創成活動の実証実験を行うことを核としています。また、「暮らしの満足度(ウェルネスデザイン)」評価によってこの実証実験の効果検証を行いません。さらに、地域創成のための社会・文化・経済的支援に関する学問領域を「地域創成デザイン学」と名付けて体系化し、関連教育プログラム構築・実践をめざします。

平成 25 年度は、北海道 札幌市の中央区・南区、三笠市、寿都郡寿都町、虻田郡喜茂別町、沙流郡平取町で TSS の仮説構築を目的とした活動を行いました。また、道外先進事例として高知県津野町、徳島県神山町および上勝町の視察調査を実施しました。これらの活動を通じ、アート&デザインの持つ 4 つの力と、地域創成のキーとなる 4 つの要素で構成される地域創成の枠組みを仮説として構築いたしました。平成 26 年度以降は実証実験を通じての本仮説の検証が課題となります。

②実施体制

研究代表者：蓮見 孝  
 研究分担者：酒井 正幸、城間 祥之、中原 宏、上遠野 敏、原 俊彦、石井 雅博、齊藤 雅也、山田 良、柿山 浩一郎、上田 裕文、片山 めぐみ

③研究組織

統括、大都市(札幌市)の魅力分析班、過疎市町村の魅力分析班、地域創成先行事例分析班、暮らし満足度定量化手法班、事務局

④主な事業実績

年月日	事業実績
平成25年6月10日～9月30日	グリーンカーテン栽培による「まちの TSS デザイン」(参加者：30 名)
平成25年8月24日・25日 ～9月7日	寿都町：風ぐるまアートプロジェクト(参加者：約 20 名)
平成25年9月2日～5日・ 12月26日～27日・ 3月2日・3日	平取町：鹿革商品開発プロジェクト(のべ参加者：約 50 名)
平成25年9月8日・15日～16日	ミライサイクルプロジェクト—自転車 day にて出展した空間作品群(参加者：約 120 名)
平成25年9月15日～17日	新潟県十日町市、津南町(大地の芸術祭の里、アートプロジェクトによる地域づくり)の視察(参加者：1 名)
平成25年9月21日～29日	小樽アートプロジェクト(調査部門)(来場者：約 450 名)



平成25年9月21日・10月14日・19日・11月3日	奔別アートプロジェクト 2013 来場者への意識調査実施（調査対象者：約 60 名）
平成25年9月26日・27日	福岡県 東峰村（観光まちづくりによる着地型観光の先進地域）との情報交換（のべ参加者：約 30 名）
平成25年11月1日～4日	徳島県那賀町 isa 環境芸術会議 杜舞台アートプロジェクト（視察）
平成25年11月16日	「喜茂別だより・寿都だより」弁当 喜茂別町の食材、資源さがしワークショップ実施（参加者：23 名）
平成25年11月23日	「喜茂別だより・寿都だより」弁当 寿都町の食材、資源さがしワークショップ実施（参加者：23 名）
平成25年11月30日～12月3日	徳島県 神山町（移住人口の増加、過疎地域と都市との共生の取り組み）、上勝町（地域資源を活用した「葉っぱビジネス」）との情報交換（のべ参加者：約 20 名）
平成25年12月2日・3日	高知県 津野町（廃校利用の宿泊施設「森の巣箱」にみる住民主体の集落活性化／他）との情報交換（のべ参加者：約 30 名）
平成25年12月	ホームページ作成
平成25年12月16日 ～平成26年1月31日	魅力発見大規模調査（回答者：1,189 名）
平成26年3月2日	「井戸端寺子屋会議 in 平取」（参加者：約 45 名）

受託研究費

研究代表者	研究課題	受託元	金額(円)
石井 雅博	共生社会に向けた人間調和型情報技術の構築	(独) 科学技術振興機構	5,720,000
上田 裕文	寿都町におけるブルーツーリズムと中間支援組織に関する調査研究	寿都町	1,200,000
片山 めぐみ	寿都町におけるコミュニティ・レストランを拠点としたソーシャル・キャピタル醸成のアクションリサーチ	寿都町	1,200,000
松浦 和代	学校保健に関する健康教育導入へ向けての基礎調査	(公財)札幌がんセミナー	777,777
齊藤 雅也	積雪寒冷地におけるゾウ舎のデザイン研究	札幌市(環境局)	1,500,000
吉田 恵介	芸術文化導入によるまちづくりに関する研究	美瑛町	3,000,000
吉田 恵介	憩ヶ森公園整備設計に関する研究	美瑛町	7,990,500
羽深 久夫	仮称札幌市障がい児(者)医療・福祉複合施設整備に係る障がい児等への療育環境向上のためのデザイン、看護双方向の視点による研究	札幌市(保健福祉局)	2,700,000
酒井 正幸	新ホッキョクグマ・アザラシ舎の観覧満足度向上に係るデザイン研究	札幌市(環境局)	1,000,000
片山 めぐみ	喜茂別町における「交流ハウス」のデザインと住民主体のまちづくり促進に関するアクションリサーチ	喜茂別町	1,480,500
福田 大年	北海道の風土と文化にちなんだ色と言葉の選定に関する調査研究	(株)マーケティング・コミュニケーション・エルグ	1,000,000
福田 大年 小宮 加容子	子どもの能動的参加を促し、遊び場を構築する道具や手法に関する基礎的研究	札幌市(市長政策室)	1,428,000
矢部 和夫	円山動物園の森ビオトープの生物多様性向上のための研究	札幌市(環境局)	500,000



研究代表者	研究課題	受託元	金額(円)
吉田 和夫	ユニバーサルデザイン視点からの動物園のサイン計画研究 - 西門周辺アプローチの誘導サイン -	札幌市(環境局)	500,000
齊藤 雅也	アフリカに生息する動物の展示デザインと動物舎のエネルギー・マネジメントに関する研究	札幌市(環境局)	1,000,000
齊藤 雅也	札幌市の全住宅の熱需要MAP作成と札幌市南区真駒内での「次世代コミュニティ暖房」の検討	札幌市(市長政策室)	1,445,850
吉田 恵介	札幌国際芸術祭 2014 都市緑化プロジェクトに関する調査・研究業務	札幌市(観光文化局)	1,480,500
齊藤 雅也	大規模複合商業施設における商学連携による地域向け住環境教育のデザイン研究	(株)札幌副都心開発公社	1,000,000

#### 4 寄附金の受入状況

教員名	寄附目的	寄附元	金額(円)
矢部 和夫	釧路湿原生態系保全に関する研究のため	環境コンサルタント(株)	500,000
	ウトナイ湖の水位変化が北西岸湿地のハンノキ林や他の群落の分布に与える影響の評価に対する研究助成	(公財)リバーフロント研究所	800,000
中村 恵子	教育を基にした人材育成のための支援 看護教育の促進強化	(医)徳州会 札幌徳州会病院	240,000
	看護研究の促進及び看護の質の向上のため	(医)溪仁会 手稲溪仁会病院	150,000
		北海道勤労者医療協会	350,000
		JA 北海道厚生連札幌厚生病院	210,000
三谷 篤史	ゴム銃の社会的認知度とデザイン性水準の向上に貢献する	森下 大	60,000
	若いブランディング提案が可能なデザイナーの育成	(株)コーポレーション・ミヤ	50,000

#### 5 その他研究助成

教員名	寄附目的	寄附元	金額(円)
三谷 篤史	操作により反応が変わるメカトロ積み木作業療法への応用	(公財)北海道科学技術総合振興センター	2,000,000
スーディ神崎 和代	「E-KANGO を応用した集合住宅居住者用健康管理システムの検証」	(公財)北海道科学技術総合振興センター	4,000,000



## 6 海外出張記録

期間	教員名	目的国	目的
平成25年4月19日 ～4月23日	三谷 篤史	シンガポール	国際学会 ICMMA2013への参加および発表
平成25年5月9日 ～5月17日	石井 雅博	アメリカ	Vision Sciences Society 13th Annual Meeting 参加、研究成果発表及び資料収集
平成25年5月17日 ～5月21日	張 浦華	台湾	2013 Global Chinese Industrial Design Forum and Conference 出席及び研究発表
平成25年5月17日 ～5月23日	宮崎 みち子	オーストラリア	国際看護師協会第25回4年毎大会参加
平成25年6月8日 ～6月16日	酒井 正幸	イギリス、アイルランド、デンマーク、ドイツ	札幌市円山動物園におけるゾウ導入準備のための視察調査
平成25年6月8日 ～6月16日	福田 大年	イギリス、アイルランド、デンマーク、ドイツ	札幌市円山動物園におけるゾウ導入準備のための視察調査
平成25年6月8日 ～6月21日	齊藤 雅也	イギリス、アイルランド、デンマーク、ドイツ、チェコ	札幌市円山動物園におけるゾウ導入準備のための視察調査、国際会議 CLIMA2013学会発表
平成25年6月9日 ～6月17日	杉本 達應	アメリカ	WWDC 2013 参加、エクスプロラトリウム見学
平成25年6月15日 ～6月21日	村松 真澄	フランス	研究の成果交流及び高齢者施設・病院等の口腔ケアの実施状況の視察
平成25年6月22日 ～6月25日	片山 めぐみ	韓国	第20回国際老年学会ソウル大会での研究発表
平成25年7月7日 ～7月14日	三谷 篤史	オーストラリア	国際会議 AIM2013への参加・発表
平成25年7月21日 ～7月28日	定廣 和香子	チェコ	国際学会発表(シグマ・シータ・タウ・インターナショナル)
平成25年7月30日 ～8月5日	須之内 元洋	スウェーデン	国際会議(SMAC/SMC 2013)発表
平成25年8月25日 ～9月1日	片山 めぐみ	アメリカ	縁側サービスに関する調査(シカゴの Mather's Café にて調査)
平成25年8月26日 ～8月31日	原 俊彦	韓国	IPC(International Population Conference) 参加
平成25年9月6日 ～9月15日	三谷 篤史	イタリア	国際学会 World Tribology Congress 2013 (WTC2013) への参加, 発表
平成25年9月6日 ～9月24日	武邑 光裕	オランダ、フランス、ドイツ、イタリア	欧州創造都市事例調査、ユネスコ Creative Cities Network 総会出席
平成25年9月8日 ～9月17日	羽深 久夫	スイス、オランダ	スイスのアールヌーヴォー建築、オランダの歴史的建造物調査
平成25年9月12日 ～9月19日	松井 美穂	アメリカ	大学図書館等でのリサーチ(William Faulkner と Blues に関する資料調査、情報収集)



期間	教員名	目的国	目的
平成25年9月22日 ～9月28日	矢部 和夫	インドネシア	国際ワークショップ「インドネシアの泥炭における火災と炭素管理」での研究発表
平成25年9月27日 ～10月1日	吉田 恵介	イギリス	RHS Malvern Autumn Show の視察・調査
平成25年10月8日 ～10月12日	山田 良	ロシア	北方圏都市のまちづくりにおける環境芸術の役割と可能性 ―現地調査、作品展示
平成25年10月10日 ～10月15日	川村 三希子	タイ	10TH ASIA PACIFIC HOSPICE CONFERENCE 2013 参加発表
平成25年10月15日 ～10月17日	村松 真澄	韓国	9th International Nursing Conference in Seoul, Korea 研究発表
平成25年10月17日 ～10月19日	宮崎 みち子	韓国	第3回世界看護科学学会参加(3rd World Academy of Nursing Science)
平成25年10月17日 ～10月21日	定廣 和香子	アメリカ	共同研究者打ち合わせ、研究推進コース遠隔開催準備、実施
平成25年10月17日 ～10月23日	蓮見 孝	台湾	「LOCHAS2013」学会出席、表敬訪問・座談会等出席(国立台中科技大学・国立雲林科技大学)、表敬訪問(私立華梵大学)
平成25年10月19日 ～10月26日	山田 典子	メキシコ	研究発表と会議出席
平成25年10月26日 ～10月31日	町田 佳世子	オーストリア	World Psychiatric Association(国際精神医学会) International Congress Vienna 2013参加、成果発表
平成25年11月7日 ～11月14日	武邑 光裕	ドイツ	Berliner GazetteCOMPLICITY 国際会議
平成25年11月14日 ～11月17日	張 浦華	韓国	Asia Network Beyond Desig (ANBD) ソウル展(展示準備、オープニング)及び(韓国の家-伝統五感体験研修)参加
平成25年11月24日 ～11月29日	菊地 ひろみ	オーストラリア	在宅ケア施設 訪問看護施設視察
平成25年12月11日 ～12月16日	定廣 和香子	アメリカ	共同研究者打ち合わせ、研究推進コース遠隔開催準備、実施
平成26年2月17日 ～2月23日	上田 裕文	フィンランド	共同研究のための研究打合せ、コミュニティ拠点の施設視察、ラップランド大学との連携打合せ、デザインウィーク視察(ストーリーセミナー参加)
平成26年2月21日 ～2月25日	小西 敏正	マレーシア	マレーシアにおける近代建築の保存に対する調査、1990年次との比較を行う
平成26年3月1日 ～3月7日	片山 めぐみ	デンマーク	福祉施設を拠点とした世代間交流の先進事例視察
平成26年3月2日 ～3月6日	齊藤 雅也	ドイツ	札幌市大学提案型公募研究における欧州先進事例視察と国際共同研究のワークショップ参加
平成26年3月3日 ～3月9日	松井 美穂	アメリカ	William Faulkner の資料調査・収集、南部研究や blues 研究の動向についての調査
平成26年3月13日 ～3月17日	村松 真澄	ハワイ	第3回 ハワイ国際交流セミナー&視察研修
平成26年3月13日 ～3月18日	山田 典子	イタリア	フォレンジック看護調査



期間	教員名	目的国	目的
平成26年3月21日 ～3月25日	上田 裕文	台湾	陽明山国家公園、内洞国家森林遊楽区、富徳霊骨楼への研究視察
平成26年3月23日 ～3月28日	守村 洋	オーストラリア	精神障害者患者会および家族会へのインタビュー
平成26年3月23日 ～3月31日	張 浦華	台湾	学術交流協定校の華梵大学からの招聘による授業および学術交流等
平成26年3月23日 ～4月2日	原田 昭	台湾	学術交流協定校の華梵大学からの招聘により客員教授として授業・講演、学術交流等
平成26年3月26日 ～3月31日	村松 真澄	アメリカ	Oral health consortium meeting & simulation lab の見学
平成26年3月27日 ～3月30日	スーディ神崎 和代	イギリス	Alzheimer's Disease in down Syndrome: from molecules to cognition 参加